

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

熊本県 南阿蘇村

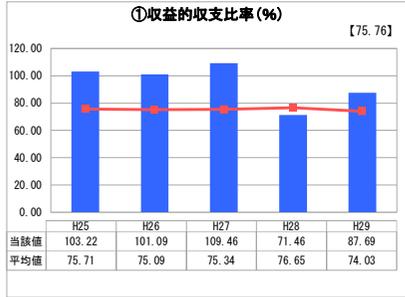
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	99.86	2,160	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,846	137.32	78.98
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,709	12.65	846.56

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



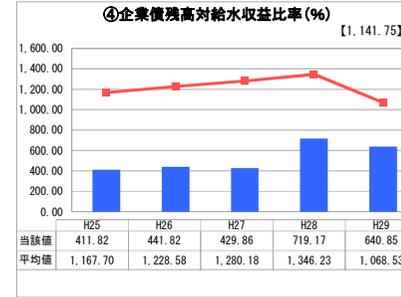
「単年度の収支」



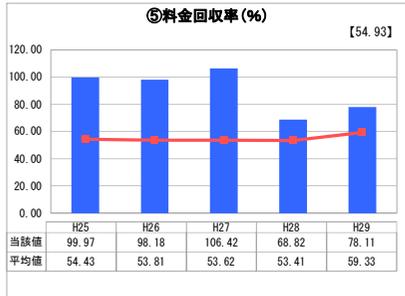
「累積欠損」



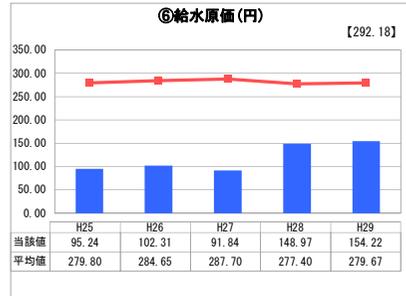
「支払能力」



「債務残高」



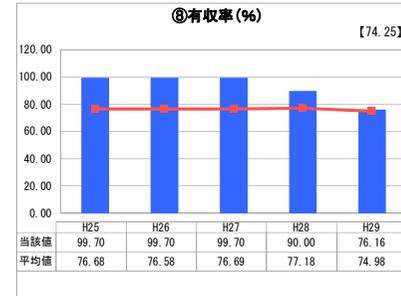
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

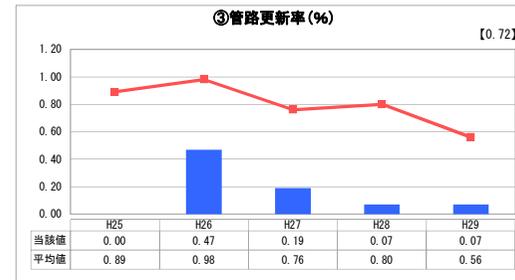
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

主に料金回収率及び施設利用率の低下について低下した理由としては、熊本地震にて大規模断水が発生し、応急復旧期間にかけて料金を徴収しなかった時期があったためである。更には、「みなし仮設」へ移転した住民も多く、且つ已む無く公費解体又は自主解体にて居住地を失った住民も同様に数多く発生したため低下している状況である。  
H29年度は一部回復状況であるが理由としては29.10.31付にて長期避難が解除され村内へ戻る住民も一部増加併せてしたことによる。

### 2. 老朽化の状況について

既に耐用年数を超過した施設が見受けられるため、平成30年度にてアセットマネジメントを発注しており管内資産状況を把握し翌年度以降、施設影響等を含め計画的な更新を検討する。

### 全体総括

平成30年度中に熊本地震で被災した施設復旧を計画してしたが、道路災・河川災の進捗に応じた工程となり平成31年度にて復旧完了を計画している。  
復旧の状況と併せて老朽施設の更新計画を行う。  
経営戦略については、平成32年度までの策定を目指す。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。